NIEもっけワークシート ⑥⓪

（2021年4月30日付・下野新聞1面）

中学生向け

年　組

交際に発展 2000組超

とちぎ結婚支援センター

オンライン、引き合わせ増

とちぎ結婚支援センターの交際発展件数が3月末時点で2056組となり、2017年1月の開設から4年で2千件を突破したことが29日までに、県こども政策課のまとめで分かった。成婚数は112組224人。昨年度は新型コロナウイルスの影響で活動が停滞する時期もあったが、入会料の半額キャンペーンや、プロフィル検索などサービスのオンライン化により、登録者数や引き合わせ件数が増加した。本年度は会員登録もオンライン化する予定で、交際数や成婚数の一層の増加を目指す。（山根茂生）

開設4年、成婚は112組

同センターは県が開設した結婚支援相談窓口で、結婚したくてもできない独身男女の婚活をサポートし、結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目なく支えることで少子化を食い止めるのが狙い。現在は宇都宮、小山、那須塩原、足利の4市に設置している。

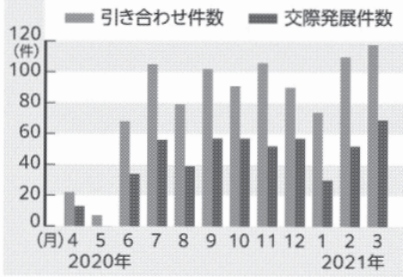
3月末時点の登録会員数は男性1388人、女性827人で、開設からの累計の引き合わせ件数は470組。このうち約4割に当たる2056組が交際に発展した。

同課によると、昨年度は新型コロナの影響で4月から約1カ月間業務が停止するなどし、上半期は新規登録者が伸び悩んだという。そこで10月からの半年間、20代男女の新規入会登録料を半額にするキャンペーンを実施。期間中に189人の20代が登録し、前年同期比で2・5倍となった。

今年2月からは、センターのみで行っていた利用者同士のプロフィル検索や引き合わせをオンライン化し、スマートフォンなどを使って自宅でも利用できるようにした。2、3月の引き合わせ228件のうち、57件がオンラインで行われた。

県は本年度予算に200万円を計上し、会員登録もオンラインでできるようシステムを改修する。同課の担当者は「今まで以上に気軽に利用できるようにし、結婚を後押ししたい」と話している。

とちぎ結婚支援センターの2020年度の引き合わせ件数と交際発展件数



設　問

【1】昨年度、登録者数や引き合わせ件数が増加した理由を二つ挙げなさい。

【2】栃木県が県の施策として男女交際を積極的に支援する理由は何ですか。回答欄に合うように記事の語を抜き出しなさい。

（　　）を抑制するため

【3】記事の内容に合っている選択肢を一つ選びなさい。

ア　開設から昨年度までにおいて、成婚数は2000組以上にも上った。

イ　開設から昨年度までにおいて、引き合わせ件数のうち成婚に至った件数の占める割合は約３％を下回る。

ウ　オンラインで会員登録を可能にしたところ、会員数が激増した。

エ　開設から昨年度までにおいて、引き合わせ件数は交際発展件数のおよそ４割である。

出題・監修は宇河地区中学校教育研究会国語部会
・小嶋陽介（こじまようすけ）宇都宮市陽西中教諭